

平成20年度 グリーン物流パートナーシップ普及事業 推進決定事業一覧

| 番号 | 分類 | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | 受付 ブロック | 省エネ率 【計画】 (%) |
|----|------|---|---|--|------------|---------------------|
| 1 | 大 | パートナーシップによって「石油製品」の「苫小牧市」～「札幌市」間輸送の「タンクローリー」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「石油製品」の苫小牧～札幌間輸送において、「18KLタンクローリー」から「24KLタンクローリー」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「出光興産(株)とホッコウ物流(株)が互いの意見を出し合っており、効率的な輸送のために大型の車両を導入することを確認したこと」である。 | 出光興産(株) ホッコウ物流(株) | 北海道 | 18.3 |
| 2 | 大 | パートナーシップによって「石油製品」の「苫小牧市」～「札幌市・道央圏」間輸送の「タンクローリー」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「石油製品」の札幌～苫小牧・道央間輸送において、「20KL積載タンクローリー」から「24KL積載タンクローリー」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「荷主である出光興産株式会社と物流会社の栄光運輸株式会社が意見を交換し、最も効率的な配送計画の構築を行ったこと」である。 | 出光興産(株) 栄光運輸(株) | 北海道 | 15.5 |
| 3 | 共 | パートナーシップによって「A飼料(牛用飼料)」を共同輸配送することによる省エネルギー事業 | 従来は事業者ごとに輸送していた「A飼料(牛用飼料)」を「日本配合飼料(株)」と「明治飼糧(株)」が「幸和運輸(株)のトレーラー、バルク車、ユニック車」によって共同で輸配送することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「トランスパックの輸配送からバラでの共同輸配送に変えることで、生産・物流の全体効率化が可能になること」である。 | 日本配合飼料(株) 明治飼糧(株) 幸和運輸(株) | 北海道 | 15.7 |
| 4 | モ(鉄) | パートナーシップによって「自動車部品」の「北海道」～「関東・関西」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「バンセトレーラーを用いたトラック輸送」によって運ばれていた「自動車部品」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「従来千歳にあるダイナックスへの空容器配達と製品集荷を別車両で行っていたが出荷調整を行うことにより出荷時間を前倒し、配達と集荷を同一車両で行うことによりトラック輸送距離を削減したこと」である。 | 東芝物流(株) 株ダイナックス 札幌通運(株) 日本貨物鉄道(株) | 北海道 | 39.5 |
| 5 | 他 | 蓄冷材による保冷システムを利用した生鮮品配送における駐停車時のアイドリングストップ等による省エネルギー事業 | 現在使用している4トン型冷凍機搭載型冷蔵保冷車を冷凍機非搭載のダイナミックアイス(蓄熱式)保冷車に切り替えることで、燃費向上と車載冷凍機のノンフロン化を図り、総合的エネルギー消費量及びCO2排出量の削減を行なうものである。 | 生活協同組合コープさっぽろ 株式会社シーエックスカーゴ 丸交道交(株) 株アイアイター | 北海道 | 6.6 |
| 6 | 大 | パートナーシップにより「硫安」の「新潟県胎内市」～「新潟市北区もしくは新潟市中央区」間物流の「ダンプ車」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「硫安」の輸送において「ダンプ車4台」から「ダンプトレーラー2台」へ輸送機材の台数削減及び大型化することにより、環境負荷の低減を行なう。本事業のポイントは「株クラレと丸肥運送倉庫(株)と丸肥運送倉庫(株)と丸肥運送倉庫(株)が互いに意見を出し合いながら、環境保全活動における、社会的責任を果たす為もっとも効率の高い輸送方法の構築を行なったこと」である。 | 株クラレ 株丸運 株丸運産業 丸肥運送倉庫(株) 興銀リース(株) | 北陸信越 | 31.0 |
| 7 | 大 | パートナーシップによって「乳製品」の「多摩・東京・神奈川」～「東京・神奈川・多摩」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「乳製品」の輸送において、「15tトラック」から「20tトレーラー」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「鴻池運輸(株)と森永乳業(株)が互いに意見を出し合いながら、最も効率的な輸送とCO2排出量の削減を図る改善事業を実施すること」である。 | 森永乳業(株) 鴻池運輸(株) | 関東 | 18.0 |
| 8 | モ(鉄) | パートナーシップによって「鋼材(構造用鋼)」の「埼玉」～「関西」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「36tトレーラー」によって運ばれていた「鋼材(構造用鋼)」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「鋼材(構造用鋼)の輸送において、20fコンテナのあおり開閉箇所を改造し6.0m材のコンテナ輸送を可能とする」である。 | 朝日工業(株) カネヒラ鉄鋼(株) 日本貨物鉄道(株) 東武運輸(株) | 関東 | 66.6 |
| 9 | 大 | 川崎市川崎区浮島から首都圏への輸送トラック車両大型化及び紙製品(往路)と古紙(復路)輸送のセット物流による省エネルギー事業 | 現状の20tトラック輸送を25t車トラック輸送へ車両の大型化を行い、往路で運ぶ製品の帰り便を活用して復路で古紙を輸送して、車両大型化による配送効率向上を図ることでCO2を削減する。 | 大王製紙(株) 川崎紙運輸(株) | 関東 | 38.6 |

| 番号 | 分類 | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | 受付ブロック | 省エネ率【計画】(%) |
|----|------|--|--|---|--------|-------------|
| 10 | モ(鉄) | 一般小口共配低温貨物(BtoB)を対象としたモーダルシフト促進型輸送インフラ事業(東京-福岡 往復定期運行シャトル便開設)並びに関東・九州エリア内共同輸配送効率化(ハブ&スポーク機能発揮)等による省エネルギー事業 | 生鮮・冷凍関連中小企業間で行われるBtoB長距離小口共配物流領域に絞り、幹線物流を担う鉄道往復定期シャトル便運行を柱とした小口共配システム造りに取組む。NFL協議会会員・パートナーの冷蔵冷凍トラック事業者(荷主)、ワールドセンター事業者、鉄道利用輸送事業者との三位一体コラボレーションによる事業展開の第一歩として、まずは関東・九州間シャトル便利用のハブ&スポーク型共配輸送インフラ事業に取組む事業である。 | 日本フレッシュ・ロジスティクス有限責任事業組合(株)マルハニチロ物流日本貨物鉄道(株)丸和通運西九大運輸倉庫(株) | 関東 | 69.9 |
| 11 | 大 | パートナーシップによって「石油製品」の「川崎・千葉製油所」～「関東地区サービスステーション」間輸送の「タンクローリー」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「石油製品」の輸送において、「16kl、20kl、26klローリー」から「18kl、24kl、30kl」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「新型大型タンクローリーの導入による輸送回数及びCO2の削減を石油元売と各運送会社が協力して取り組んだこと」である。 | エクソンモービル(有)東日本上野輸送(株)(株)ニヤクコーポレーション中央運輸(株)三菱オートリース(株) | 関東 | 11.3 |
| 12 | モ(鉄) | パートナーシップによって「アミノ酸等」の「千鳥」～「中部地区等」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「10tローリー・トラック」によって運ばれていた「アミノ酸等」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「製品の輸送形態を10tローリー・トラックからJRコンテナ及びタンクコンテナに切り替えることにより、製品輸送時に使用するエネルギー消費量の削減をすること」である。 | 昭和電工(株)日本貨物鉄道(株)神奈川臨海鉄道(株)神奈川臨海通運(株)全国通運(株) | 関東 | 69.3 |
| 13 | 他 | パートナーシップによって「国際海上コンテナ」の「横浜港」～「東京港」間輸送の「トレーラー」を兼用化する事による省エネルギー事業 | 「国際海上コンテナ」の輸送において、「20f及び40fの単体トレーラー」から「兼用トレーラー」へ輸送機材の代替化することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「往路と復路のサイズが違う場合でも車両交換の必要が無く、空輸送を回避する事で無駄な走行距離を減らし、燃料の削減が可能」である。 | 宇徳ロジスティクス(株)宇徳 | 関東 | 50.0 |
| 14 | 大 | 樹脂チップの三島工場～滋賀事業場間輸送を専用タンクローリー車化し、1回あたり輸送量を向上させることによる省エネルギー事業 | 東レ(株)と東洋運輸(株)の協同により、もっとも効率的な輸送手段の構築をして環境負荷の低減をおこなう。三島-滋賀間の樹脂チップの輸送において、従来はスチールコンテナ詰め(コンテナ自重2t、チップ7t 合計9t)で10tトラック輸送を行っていた。これをタンクローリー車(チップ18t積載)輸送に転換することにより運行回数を削減する。 | 東レ(株)東洋運輸(株) | 関東 | 61.3 |
| 15 | 他 | 自動配車システムを導入した効率的輸送ルート算出による省エネルギー事業 | カルビー(株)東日本エリアの配車業務に自動配車システムを導入し、CO2排出量を14%削減する。現在別途のシステムとなっている、カルビー社の配車業務とカルビー社以外のメーカーの共同配車業務を一元化し、システムで配車することで車両、CO2削減を実現する。 | カルビー(株)スナックフード・サービス(株)(株)ギンビス丸彦製菓(株) | 関東 | 14.3 |
| 16 | モ(鉄) | パートナーシップによって「自動車部品」の「群馬県前橋市」～「福岡県北九州市」間、「愛知県名古屋市」～「福岡県北九州市」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「10tトラック」によって運ばれていた「自動車部品」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「輸送を部品別にし到着地周辺で組付け完成品にして客先へ届ける事により、トラック便数の低減を可能にした容積の低減」である。 | 豊通物流(株)センコー(株) | 中部 | 61.8 |
| 17 | 集 | パートナーシップによって「自動車部品」の輸送拠点を集約することによる効率化と省エネルギー事業 | 従来は「自社倉庫」と「6カ所の外部倉庫」に分散していた「200種類におよぶ自動車部品」の輸送拠点を「新規の輸送拠点」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「輸送拠点を集約化することで、配送便の削減・輸送距離の減少等の物流の効率化を図り、環境負荷の少ない物流構築をする事」である。 | 佐久間特殊鋼(株)丸太運輸(株) | 中部 | 22.8 |
| 18 | 共 | パートナーシップによって「輸出用鋼板コイル」を共同輸配送することによる省エネルギー事業 | 従来は事業者ごとに輸送していた「輸出用鋼板コイル」を「豊田スチールセンター(株)」と「豊田通商(株)」が「CVTパレットを使用したコンテナドレージ」によって共同で輸配送することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「従来12.4t / 1コンテナ積載から、27.45t / 1コンテナ積載による輸送効率化」である。 | 豊田通商(株)豊田スチールセンター(株) | 中部 | 68.1 |

| 番号 | 分類 | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | 受付ブロック | 省エネ率【計画】(%) |
|----|------|--|--|--|--------|-------------|
| 19 | 大 | パートナーシップによって「缶コーヒー等飲料品」の「静岡県島田市」～「愛知県愛西市」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「缶コーヒー等飲料品」の輸送において、「10tトラック」から「26tトレーラ」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「山岸運送㈱と㈱合通名古屋配送センターがお互いに意見を出し合いながら、もっとも効率的な輸送品目による輸送ダイヤの構築を行ったこと」である。 | ㈱合通 山岸運送㈱ | 中部 | 55.1 |
| 20 | 集 | パートナーシップによって「自動車部品材料」の納入対応拠点を工場隣接地に開設することによる省エネルギー事業 | 従来は「豊通非鉄センター(安城市)」と「同社西尾事業所(西尾市)」を拠点として行っていた「デンソー西尾製作所使用材料(アルミ材料)」への納入を「日本APT株式会社」が担うことにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「日本APTが納入拠点をデンソー西尾製作所の近隣に新設し、ルートの直送化と短縮をすることで輸送の共同化を実現すること」である。 | 豊田通商㈱ 日本APT㈱ ㈱丸運 | 中部 | 11.0 |
| 21 | 大 | パートナーシップによって「自動車部品」の「豊田市」～「裾野市」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「自動車部品(エンジン部分)」の輸送において、「大型トラック」から「フルトレーラ」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「ユーネットトランスとトヨタ自動車(株)が共同で物流案・ダイヤ案を検討し行った事」である。 | トヨタ自動車㈱ ㈱ユーネットトランス | 中部 | 24.0 |
| 22 | 毛(鉄) | パートナーシップによって「特殊鋼」の「兵庫県姫路市」～「秋田県秋田市」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「27t セミトレーラ」によって運ばれていた「特殊鋼」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「特殊鋼という重量物を安全かつ効率的に鉄道輸送するため、専用コンテナの導入を行ったこと」である。 | 山陽特殊鋼㈱ ㈱浜田運送 | 近畿 | 77.0 |
| 23 | 他 | 新宮港を利用した内航船フィーダー輸送の転換によるCO2削減及び省エネルギー事業 | 新宮港にラフタークレーンを整備し、従前他港(大分県佐伯港及び大阪府阪南港)から遠距離移入していた貨物を新宮港で直接取扱うことにより、CO2排出量及び燃料使用量の削減を図るものである。 | 紀州製紙㈱ 新宮港埠頭㈱ 大阪機船㈱ | 近畿 | 96.1 |
| 24 | 大 | 工場からの住宅建築現場への小型車直送から大型車による現場近隣のサテライトセンターへの幹線配送と現場配送に変更することによる省エネルギー事業 | 住宅エクステリア商品の輸送について、つくば工場から神奈川エリアへの配送方法を、工場から建築現場への小型車による直送から、現場近隣の綾瀬サテライトセンターへ大型車(10t車)を用いて、まとめ配送しそこから小型車により現場へ運ぶ方法に変更する。幹線輸送にまとめることにより全体での輸送距離を短縮しCO2の削減を図る。 | ダイワラクダ工業㈱ 大和物流㈱ | 近畿 | 18.3 |
| 25 | 集 | パートナーシップによって「発泡プラスチック」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来はセンコー(株)奈良支店の「北野倉庫」と「上林倉庫」と「天理倉庫」に分散していた「発泡プラスチック」の輸送拠点を、新たに建設する「センコー(株)奈良支店 奈良第3PDセンター」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「輸送拠点を集約化することで、輸送距離削減による環境負荷低減を図ることが可能になること」である。 | 積水化成成品工業㈱ センコー(株) オリックス自動車㈱ | 近畿 | 42.6 |
| 26 | 毛(海) | パートナーシップによって牛乳、ヨーグルト・乳製品の関東・中部・関西～九州間輸送を海運へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「10t」等大型トラック」によって運ばれていた「牛乳、ヨーグルト・乳製品」の輸送について海運へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「海運へのモーダルシフトを行うとともに、社内転送方法の見直し等によりトレーラー化したこと」である。 | 明治乳業㈱ 明治ロジテック㈱ | 近畿 | 30.3 |
| 27 | 大 | パートナーシップによって石油製品の製油所並びに油槽所から荷卸先(顧客)間輸送のタンクローリーを大型化することによる省エネルギー事業 | 出光興産(株)徳山製油所から広島空港・宇部空港まで行っている航空用燃料の輸送を20klローリーから30klローリーへと変更し、運行回数の削減を図る。また、製油所及び輸送所から荷卸先(ガソリンスタンド)まで行っているガソリン等の輸送を20klローリーから24klローリーへと変更し、運行回数の削減を図る。 | 出光興産㈱ 河崎運輸機工㈱ ㈱アクティ 東京オートリース㈱ | 中国 | 20.9 |
| 28 | 大 | パートナーシップによって石炭の周南～各工場間輸送のダンプを大型化することによる省エネルギー事業 | 徳山下松港の徳山パルクターミナルから石炭を10.5t車2台と12.4t車1台で、各工場へ輸送していたものを、10.5t車2台を15t車1台に変更することにより、運行回数の削減を図る。本事業のポイントは「石炭輸送に使用する車両を大型化・新長期排ガス規制に適合したものに切替え運行効率を向上させること」である。 | 出光興産㈱ 徳山海陸運送㈱ | 中国 | 23.8 |

| 番号 | 分類 | 事業の名称 | 事業の概要 | 事業者 | 受付 ブロック | 省エネ率 【計画】 (%) |
|--------|----------|---|--|---|------------|---------------------|
| 29 | 大 | パートナーシップによって金庫及び金庫部材の広島～東京・名古屋・大阪間輸送のトラックを大型化することによる省エネルギー事業 | 熊平製作所(株)本社工場及び千代田工場から10tトラック3台にて、金庫及び金庫部材を小松川倉庫(東京都)、守山倉庫(名古屋市)及び東大阪倉庫(東大阪市)へ輸送していたものを、14tトラック2台による輸送へと変更することにより、運行回数の削減を図る。 | (株)熊平製作所 井上物流(株) | 中国 | 27.4 |
| 30 | モ (鉄) | パートナーシップによって一般雑貨及びロット貨物の広島～関東間輸送を鉄道へとモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は10tトラックで行っていたトナミ運輸(株)広島支店～千葉支店間及びトナミ運輸(株)広島支店～浦和支店間の輸送について、幹線部分を31フィートウイングコンテナ導入により、鉄道へとモーダルシフトすることにより、環境負荷低減を図る。なお、貨物駅までの輸送はトレーラによって行う。 | トナミ運輸(株) 日本貨物鉄道(株) | 中国 | 48.3 |
| 31 | 集 | パートナーシップによって樹脂・繊維原料の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来は大竹から岩国地区の7拠点到分散していた「樹脂・繊維原料」の輸送拠点を「大竹物流センター」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「新たに開港する大竹港に拠点を集約することで、海運へのシフトや半径3km以内にあるJR貨物駅・高速ICの活用によるモーダルシフトも展開可能である」ことである。 | 三菱レイヨン(株) 日本通運(株) | 中国 | 91.3 |
| 32 | 集 | パートナーシップによって家具(ベッド)の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業 | 従来は本社倉庫、高梁倉庫、熊山工場に分散していた家具(ベッド)の輸送拠点を本社倉庫に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「本社倉庫を増床し、横持ちトラックを大型化することで輸送効率を向上させること」である。 | ビーナスベッド(株) 福山通運(株) | 中国 | 39.8 |
| 33 | 大 | パートナーシップによって「輸入プラスチック原料」の神戸・名古屋・大阪～徳島間輸送の「輸送手段」を大型化することによる省エネルギー事業 | 「輸入プラスチック原料」の神戸・名古屋・大阪～徳島間輸送において、20ft海上コンテナを、10tトラック2台に分けて積込んで輸送していたのを、輸送機材を大型化し、海上コンテナをそのままトレーラで輸送することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「パートナーがお互いに意見を出し合い、車両の大型化及び貨物の保管・荷役を行うこと」である。 | 赤松化成工業(株) 新居建設運輸(株) ワークスロジテック(協) | 四国 | 32.9 |
| 34 | 集 | パートナーシップによって「食品関連商品、日用雑貨及び衣料品」の輸送拠点を集約し「東温市」～「四国四県」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業 | 従来は、松山営業所とフジ松前センターに分散していたフジ(スーパー)及びメディコ(ドラッグストア)向けの輸送拠点を関西陸運フジグローサリーセンターに集約することとともに車両の一部大型化により、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは、「輸送拠点の集約及び車両を大型化することで輸送距離、輸送経路の見直しを行ったこと」である。 | 加藤産業(株) 関西陸運(株) (株)イナミコーポレーション 御幸運輸(株) | 四国 | 23.6 |
| 35 | モ (海) | パートナーシップによって「紙加工品及び原材料」の「愛媛県西条市、香川県坂出市」～「東京都八王子市、栃木県芳賀郡」間輸送を海運へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業 | 従来は「13.5トントラック輸送」によって運ばれていた「紙加工品及び原材料」の輸送について海運へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「長距離カーフェリーを利用したモーダルシフト及びセミトレーラシャーシでの無人航送によるトレーラ乗務員の負担軽減と車両の大型化による資料車両数の削減」である。 | 花王(株) 丸協運輸(株) オーシャン東九フェリー(株) | 四国 | 49.3 |
| 推進決定件数 | | | | 以上35件 | | |

※分類・・・モ(鉄):鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、モ(海):海運へのモーダルシフトにかかるもの、共:共同輸配送にかかるもの、集:物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、大:車両等の大型化による物流効率化にかかるもの、他:その他